

# 球磨版

## 球磨総局

あさぎり町免田東3156-2  
 電話 (0966)45-1110  
 FAX (0966)45-0399

本格米焼酎

# 白岫

熊本県人吉市合ノ原町498番地  
 高橋酒造株式会社 tel0966-24-7726(※客様相談室)  
 http://www.hakutake.co.jp  
 創業明治三十三年

### 販売取次所

- 大川商店 ☎44-0126
- 米本商店 ☎46-1010
- 栗須販売店 ☎43-3223
- 松尾販売店 ☎45-3468
- 蔵座販売店 ☎47-0203
- 平川販売店 ☎090-5489-4751
- 恒松販売店 ☎45-2024
- ニューつねまつ ☎38-1003
- 田酒店 ☎38-0035
- 松土屋販売店 ☎37-2756
- 岩崎理髪店 ☎33-0021
- 益食堂 ☎24-4011
- 徳留酒 ☎23-4974

風味芳醇  
 晚酌には  
 松の  
 影  
 あさぎり町上北1669番地1  
 (0966)45-1118

# 価値ある写真の活用を

エンブリー氏 来日80周年 日韓研究者集いシンポジウム あさぎり町

戦前、旧須恵村に滞在し日本の農村の社会構造を調べた、米国の社会人類学者ジョン・F・エンブリー氏の来日80周年を記念したシンポジウム「エンブリーと須恵村は今」が17日、あさぎの町須恵文化ホールで開かれた。

昭和10年から約1年間、エラ夫人と共に旧須恵村で人々の暮らしぶりなどを調査したエンブリー氏。同14年には調査結果をまとめた「日本の村―須恵村」を発行し、全世界に須恵村を発信。しかし、戦後の同25年、娘のク

レアさんと共に交通事故に遭い、42歳で死去した。同シンポは、日韓の研究者らと共にエンブリー氏の人物像や足跡、今後の須恵の在り方について考えてもらおうと、エンブリー氏の調査研究を進めてい

る琉球大学法文学部が主催、同町教育委員会との共催。午後2時に始まり、町内外から約60人が参加。韓国の国立ソウル大学の全京秀名誉教授が「須恵村」とエンブリー・未来のための鏡」の演題で基調講



日韓の研究者によるパネルディスカッション

演。全名誉教授は「エンブリーが来たときは戦争直前で、米国と日本との間に緊張感があつた時期。須恵村が都会から離れた山の奥だから許可されたのでは」と指摘。

エンブリー氏が須恵村に滞在中、農村の暮らしぶりなどを撮影した写真が1608枚残っている状況なども紹介し、「写真は1930年代の日本の農村の生活そのもの。残った写真で聞き取り調査などをを行い、詳しい情報を記録したら宝物になる」と提言した。

琉球大学法文学部の武井弘一准教授と神谷智昭准教授は、エンブリー氏が居た時代や足跡などについて個別に発表。「エンブリーは須恵村に溶け込み、人吉球磨の郷土史家らとも交流があった」と紹介した。

旧須恵村とエンブリー氏を研究している元新聞記者の田中一彦氏と錦町の郷土史家の久保田順氏をパネリストに加えた5人によるパネルディスカッションでは、参加した須恵地区の女性から「エンブリーさんのことは何げなく聞いているが、子どもたちにきちんと伝えなければ、ここで途切れてしまう」といった声も。



エンブリー氏が撮った写真に見入る来場者

神谷准教授は、エンブリー氏の写真を観光や地域づくりの資源としての活用を提案。われわれも協力するので、写真を介した聞き取り調査を地域の子どもたちと一緒にやってほしい。地域の人をつなげていく一つの資源として使える」と述べた。